

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	循環器疾患患者に対する嚥下リハビリテーションの有用性についての検討
研究責任者 (共同研究者)	小山内奈津美 森永伊昭 小林莉歩
研究目的と意義	当院では、循環器疾患で入院した患者に対して、言語聴覚士が嚥下機能の評価を行い、評価結果に応じた嚥下リハビリテーションを実施しております。循環器疾患患者には、高齢者の特性に起因し入院後に嚥下リハビリテーションが必要となることが報告されていますが、当院においても入院患者の高齢化に伴い入院後に嚥下障害を発症する事例が少なくありません。本研究の目的は、循環器疾患患者に対する嚥下評価と嚥下リハビリテーションの有用性、嚥下機能の低下に影響する要因について検討するものです。
調査対象となる方 (該当期間)	2020年4月1日から2024年3月31日までの期間に、当院内科病棟に循環器疾患で入院し、言語聴覚士による嚥下リハビリテーションを実施した101例。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 (性別、年齢、原因疾患、入院期間、発症からST開始までの日数、脳血管疾患の既往の有無、肺炎の合併の有無、入院時Alb値、入院時BMI、病前・入院時・退院時の摂食嚥下能力(以下FILS)、慢性疾患か急性疾患か、心不全の重症度(BNP、NYHA心機能分類、心エコー、CS分類)、入院時の機能的自立度評価、入院から離床までの日数)
研究期間	倫理委員会承認日(2024年8月9日)より1年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報(イニシャル、生年月日、当院IDなど)は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問い合わせ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：小山内奈津美 電話番号：0172-55-7717
備考	特記なし